

<月1回>

<新連載・月1回>

私のまちですすむ

# 大軍拡

静岡

⑩

昨年、防衛省は長距離ミサイルの配備計画を発表し、3月31日に静岡県の富士山のふもと、富士駐屯地に長射程ミサイルが配備されました。これは2022年に閣議決定された「安保3文書」に基づく敵基地攻撃能力配備の具体化で、今回の発表

は第一段階に過ぎず、地元には事前の説明もありませんでした。昨年10月には、米軍によるH.I.M.A.R.S.の射撃訓練が行われました。この時は演習場を通る国道が封鎖・規制されましたが、道は住民の生活に欠かせない主要道路で、交通規制は地域生活に多大な影響を及ぼしました。



330kg先の目標を破壊するH.I.M.A.R.S



静岡駅前で宣伝

また、射撃による騒音もますます、建物が揺れるほどの衝撃に住民は強い不安を感じています。東富士演習場では、地元と防衛省

で「ミサイルは持ち込ませない」という確約があり、「使用協定」の基本を無視した暴挙です。しかし地元の地権者による「東富士演習場使用協定運用委員会拡大会議」は、「苦渋の決断」と受け入れを了承してしまい、この5月20日にも射

撃訓練がおこなわれ、静岡県では、1月に「富士にミサイルはイヤ」という一点で手をつなぐ「富士にミサイルやめて」の会」を発足させ、2月21日の「富士にミサイルやめて県民集会」には約450人が集まり、これまでに参加できなかった功させました。次世代会員が「ミサイルより教育にお金を！子どもを大事にしない国がどうやって強くなるのですか！」とスピーチ。胸にせまる思いに共感がひろがりました。

世界文化遺産のかけがえのない平和の象徴・富士山を、戦争の標的にしてはなりません。「富士を撃つな」「富士から撃つな」と、学習会や現地行動、宣伝行動にとりくみながら、世論をひろげていきます。(静岡県本部 武藤弥生)

米や野菜、畜産、果物など農業を担い、支える女性たちの現場レポートです。来年3月まで全11回の予定です。

## 国際女性農業従事者年 農に生きる

京都・南丹支部 野村まゆみ

自然豊かな里山が広がる京都・南丹市、私はそこで一人暮らしをしながら、3反3畝の水田で米作りをしています。そのきっかけは、2021年年末の夫との死別でした。

夫は小さな集落の営農組合の一員として、作り手がなくなった田んぼを引き受け、農民連の運動に関わりながら8反の米作りをしてきました。長年、議員など様々な役を掛け持ちし、地域の活性化や家族農業中心の農業を続けていけるよう力を尽くしてきたことを、私はそばでずっと見てきました。

また、市外に住む3人の娘たちの「お米を買って食べるなんてありえへん。米作りしようよ」の言葉が、私の背中を押してくれました。一人になって2カ月後、喪失感に飲み込まれそうな私の無謀な挑戦の始まりでした。

1年間の栽培予定や苗、肥料の量は夫の記録から見つけましたが、自分の仕事

の休みの日に手伝う程度で、農業経験のない私には、気候や田んぼの特徴から判断をしなければならぬ水の管理は特に難しく、毎日分からない事ばかり。田んぼの向こうで農作業をしている人を見つけては走っていき、何度も何度も聞きました。教えてもらったことや失敗したこと、毎日の作業内容も米作りノートに無我夢中で記録しました。

田植え前の、井堰や谷川の溝浚えは、1年間の雨風で溜まった倒木や土砂をスコップで取り除く過酷な地域の共同作業。3人の娘やその夫、友人にも助けを求めます。地元のみなさんには、都会から来た若者が安全に作業できるよう気遣いながら毎年温かく受け入れてもらっています。

しかし、3年前から人口減少と高齢化が急速に進み、共同作業の負担は大きくなり、米作りをする農家も徐々に減っています。集落の3年先はどうなっていくのでしょうか。

### ① 夫亡き後、米作りへの無謀な挑戦



孫たちも田植えのお手伝い



**神奈川** 【麻生支部】連帯行動は高校生なども入れて70人が参加。子どもたちの反応が大きく、一緒にコールしました。ストリート・パフォーマンスのみなさんが、ポップ

なリズムでコールしてくれたり、飛び入りの学生さんがスピーチしてくれたり。「おばあちゃんたち、ありがとう！戦争いきたくないよ！」の声援もありました。



**栃木** 【佐野支部】19日、佐野駅前広場で開かれた「戦争はゴメンだ！」の行動はいつもと違って熱気にあふれていました。新婦人7人を含む総勢50人が集まり、電車待

ちの高校生たちも参加。12人がデモカレンダーを見て、かけつけました。「孫が戦争に駆り出されるのだけは何としても止めたい。佐野にはないのかと探していた」と語りました。

## NO WAR! 憲法変えるな!

5・19行動 全国各地で

**福井** 【福井県本部】5月19日、福井駅頭での新婦人主催の「ペンライト集会」は70人の参加で、新しい出会いがありました。子どもと参加したお父さんや若い女性たちです。新婦人会員は腕章をつけ、机を出して新しく署名コーナーを設置。新婦人大阪府本部考案の「next Action」カードも渡しました。毎回、仕事終わりに来てくれる20代の女性とLINEでつながり、「ペンライト集会」終了後、入会をすすめました。



風呂敷に「NO WAR」と書き入れアピールする女性

**東京** 【大田支部】「5.19ペンライトアクション」に参加しました。憲法守れ！で一致した個人、団体が一緒にとりくんだ、大田区で初めてのペンライト集会です。新婦人は集会より1時間早く集まり、ペンライトや手作りのプラカードを持ち、署名を集めました。集会は、歌、スピーチ、コールあり。にぎやかで元気の出るアクションになりました。参加者は、全体で250人。新婦人しん



ぶんの読者が、私たちに「新婦人に入会したい」と声をかけてくれるなど、うれしい出会いがありました。